

保護者向け啓発教材 講義ガイド



文部科学省委託事業
情報モラル教育推進事業
「情報モラルに関する指導の
充実に資する調査研究」

目次

目次

1. 保護者向け啓発教材の概要.....	2
2. 研修会例.....	3
3. 事前準備・グループ活動での役割分担.....	8
4. 動画の内容とスライド資料の内容.....	9
5. スライド資料の取扱い.....	10

資料.....	12
●動画シナリオ.....	12
●スライド資料・ノート.....	18
スライド資料 「導入部分」	18
スライド資料 「動画A部分」	20
スライド資料 「動画B部分」	23
スライド資料 「動画C部分」	30

1. 保護者向け啓発教材の概要

■保護者向け啓発教材の概要

保護者向け啓発教材は、平成 27 年度文部科学省委託事業「情報モラル教育推進事業」の一環として作られました。保護者向け啓発教材には、「動画教材」と「スライド資料」、「パンフレット」があり、更にそれらを活用いただくために、本冊子「講義ガイド」があります。合わせて活用いただくことで、保護者の方に情報モラル教育の重要性を理解していただくとともに、家庭教育に生かしていただける内容としました。

なお、本教材は、学校の教員のほか、PTA の役員の方、地域で活動している啓発団体の方等、幅広い方が講師として利用できるよう作成しています。

●動画教材

動画教材は、用途に合わせて「4 本」用意しています。通し動画は講義の時間が短い場合の利用を想定し、動画内にポイントも表示されるようになっていました。その他の動画は、ポイントが「スライド資料」で説明されるため、テロップを少なくしています。

動画 A：「はじめが大切」

動画 B：「知らなかったでは すまされない」

動画 C：「家庭のルール」

通し動画：動画 A・動画 B・動画 C の通し。

保護者の方に意識していただきたい「ポイント」も表示される。

●スライド資料

スライド資料は、導入部分と、動画教材ごとに対応する部分を用意しています。また、地域や学校等の実態に合わせて内容を追加したり削除したりできるように、Microsoft® Office PowerPoint（2007 以降）で開けるプレゼンテーションファイルとしました。

講師の方が実際に説明する内容もプレゼンテーションファイル内の「ノート」に掲載しています。

スライド資料： Microsoft® Office PowerPoint（2007 以降）対応の
プレゼンテーションファイル
プレゼンテーションファイルの「ノート」に説明内容を掲載

●パンフレット

パンフレットは、スライド資料の内容のうち、特に保護者の方に理解いただきたい内容がまとめられています。講義終了後に配布し、内容を振り返っていただいたり、講義時間が取れない場合にも配布していただいたりするなど、適宜活用してください。

●講義ガイド

保護者向け啓発教材を使って、研修会を実施する方のためのガイドです。

【各章の内容】

1. 保護者向け啓発教材の概要

保護者向け啓発教材の概要について説明しています。

2. 研修会例

研修時間に応じた、講義の内容などを紹介しています。

3. 事前準備・グループ活動での役割分担

事前準備やグループ活動をするに当たっての役割分担等について説明しています。

4. 動画教材の内容とスライド資料の内容

動画教材の概略とスライド資料の内容について説明しています。

5. スライド資料の取扱い

スライド資料のページ一覧と一部ページの取扱いを説明しています。

資料

動画教材のシナリオとスライド資料内の説明用「ノート」を掲載しています。

2. 研修会例

■講義の時間配分と動画教材の取扱い例（研修時間に応じて内容を選択してください）

「通し動画」を使うタイプ		「動画 A」「動画 B」「動画 C」と「スライド資料」を使うタイプ		
→P.4 研修会例 1	→P.4 研修会例 2	→P.5 研修会例 3	→P.6 研修会例 4	→P.7 研修会例 5
15分 (動画視聴のみ)	30分 (動画視聴 +話し合い 1 回 +発表 1 回)	45分 (動画視聴 +スライド講義)	60分 (動画視聴 +話し合い 2 回 +発表 1 回 +スライド講義)	90分 (動画視聴 +話し合い 3 回 +発表 3 回+ +スライド講義)
はじめの挨拶等		はじめの挨拶等		
動画視聴 「通し動画」	動画視聴 「通し動画」	講義 スライド資料「導入部分」		
	グループで 話し合い	動画視聴 「動画 A」	動画視聴 「動画 A」	動画視聴 「動画 A」
まとめ（パンフレット配布）				グループで 話し合い
	発表			発表
		講義 スライド資料「動画 A 部分」		
		動画視聴 「動画 B」	動画視聴 「動画 B」	動画視聴 「動画 B」
			グループで 話し合い	グループで 話し合い
				発表
		講義 スライド資料「動画 B 部分」		
		動画視聴 「動画 C」	動画視聴 「動画 C」	動画視聴 「動画 C」
			グループで 話し合い	グループで 話し合い
			発表	発表
		講義 スライド資料「動画 C 部分」		
		まとめ（パンフレット配布）		

●動画視聴時間

通し動画：13分

動画 A：4分

動画 B：4分

動画 C：5分

研修会例 1	「通し動画」視聴のみの研修会	15分
--------	----------------	-----

- 「通し動画」視聴のみの研修会です。
- 「通し動画」を視聴後、パンフレットを配布し、動画視聴を通じた気づきを踏まえて、家庭でパンフレットを参照するよう伝えてまとめとします。

■研修会次第例

- 1 開会（はじめの挨拶等） 【1分】
- 2 「通し動画」視聴 【13分】
- 3 まとめ（パンフレットを配布）【1分】
- 4 閉会

研修会例 2	「通し動画」視聴と話し合いを行う研修会	30分
--------	---------------------	-----

- 「通し動画」の視聴後に、参加者による話し合いを行う研修会です。
- 動画視聴による気づきを、グループ活動を通して共有し、問題点や解決方法について確認をします。また、発表をして全体でも共有します。
- 動画視聴と話し合いを踏まえて、家庭でパンフレットを参照するよう伝えてまとめとします。

■研修会次第例

- 1 開会（はじめの挨拶等） 【1分】
- 2 動画視聴【13分】と話し合いと発表【14分】

- 「通し動画」視聴 【13分】
- グループで話し合い 【10分】
 - ・動画の内容について感想を出し合います。
 - ・問題点や、解決方法等について話し合います。
- 話し合い内容の発表 【4分】
 - ・2～3名の方にグループで話し合った内容を発表してもらい、話し合いの内容を全体で共有します。

- 3 まとめ（パンフレットを配布）【2分】
- 4 閉会

研修会例 3	3つの動画視聴とスライド資料による講義を取り入れた研修会	45分
--------	------------------------------	-----

- 3つの動画テーマに沿って、動画視聴と講師による講義を行う研修会です。動画視聴の中での気付きを踏まえて、スライド資料に沿って講義し、内容の確認をします。
- 家庭で振り返りをしてもらえよう、パンフレットを配布します。

※スライド資料は、全て説明すると講義時間を超えてしまいます。P.10, P.11 の「5. スライド資料の取扱い」を参考にして、参加者に合わせてスライドを選択してください。

■ 研修会次第例

1 開会（はじめの挨拶等） 【1分】

2 動画視聴【13分】と講師による解説【約29分】

- 講義「導入」 【3分】
・スライド資料「導入部分」を用いて、講義します。

- 動画A視聴 【4分】
- 講義「動画A」 【6分】
・スライド資料「動画A部分」を用いて、講義します。

- 動画B視聴 【4分】
- 講義「動画B」 【11分】
・スライド資料「動画B部分」を用いて、講義します。

- 動画C視聴 【5分】
- 講義「動画C」 【9分】
・スライド資料「動画C部分」を用いて、講義します。

3 まとめ（パンフレットを配布）【2分】

4 閉会

研修会例 4	3つの動画視聴とグループ活動（2回）と発表（1回） スライド資料による講義を取り入れた研修会	60分
--------	---	-----

- 3つの動画テーマに沿って、動画視聴、話し合い、講師による講義を行う研修会です。
- 動画視聴後に、グループでの話し合いの時間をとり、動画視聴の気づきを共有し、保護者同士の情報交換をしながら問題点や解決方法について確認をします。また、発表をして全体でも共有します。
- 話し合いを踏まえてスライド資料に沿って説明し、家庭で振り返りをしてもらえよう、パンフレットを配布します。

※スライド資料は、全て説明すると講義時間を超えてしまいます。P.10, P.11の「5. スライド資料の取扱い」を参考にして、参加者に合わせてスライドを選択してください。

■研修会次第例

1 開会（はじめの挨拶等）【1分】

2 動画視聴【13分】と話し合いと発表【15分】，講師による解説【約29分】

- 講義「導入」【3分】
・スライド資料「導入部分」を用いて、講義します。

- 動画A視聴【4分】
- 講義「動画A」【6分】
・スライド資料「動画A部分」を用いて、講義します。

- 動画B視聴【4分】
- グループで話し合い【6分】
・動画の内容について感想を出し合います。
・対応の良い点や課題、解決方法等について話し合います。
- 講義「動画B」【11分】
・スライド資料「動画B部分」を用いて、講義します。

- 動画C視聴【5分】
- グループで話し合い【6分】
・動画の内容について感想を出し合います。
・対応の良い点や課題、解決方法等について話し合います。
- 話し合い内容の発表【3分】
・2～3名の方にグループで話し合った内容を発表してもらい、話し合いの内容を全体で共有します。
- 講義「動画C」【9分】
・スライド資料「動画C部分」を用いて、講義します。

3 まとめ（パンフレットを配布）【2分】

4 閉会

研修会例5	3つの動画視聴と話し合いと発表（3回） スライド資料による講義を取り入れた研修会	90分
-------	---	-----

■3つの動画テーマに沿って、動画視聴、話し合い、講師による講義を行う研修会です。
 ■動画視聴後にグループでの話し合いの時間を多くとることで、動画視聴の中での気づきを踏まえて、保護者同士の情報交換を一層充実させます。また、発表をして全体で共有をします。
 ■話し合いを踏まえてスライド資料に沿って説明し、家庭で振り返りをしてもらえよう、パンフレットを配布します。

※スライド資料を全て説明できるように時間を配分していますが、P.10, P.11の「5. スライド資料の取扱い」を参考にして、参加者に合わせてスライドを選択することで、話し合いや発表の時間を増やすことができます。

■研修会次第例

- 1 開会（はじめの挨拶等）【1分】
- 2 動画視聴【13分】と話し合いと発表【35分】，講師による解説【約39分】

<p> ■講義「導入」【5分】 ・スライド資料「導入部分」を用いて、講義します。 </p> <p> ■動画A視聴【4分】 ■グループで話し合い【8分】 ・動画の内容について感想を出し合います。 ・対応の良い点や課題、解決方法等について話し合います。 </p> <p> ■話し合い内容の発表【3分】 ・2～3名の方にグループで話し合った内容を発表してもらい、話し合いの内容を全体で共有します。 </p> <p> ■講義「動画A」【6分】 ・スライド資料「動画A部分」を用いて、講義します。 </p>
<p> ■動画B視聴【4分】 ■グループで話し合い【8分】 ・動画Aのときと同様に、話し合いをします。 </p> <p> ■話し合い内容の発表【4分】 ・動画Aのときと同様に、話し合いの内容を全体で共有します。 </p> <p> ■講義「動画B」【19分】 ・スライド資料「動画B部分」を用いて、講義します。 </p>
<p> ■動画C視聴【5分】 ■グループで話し合い【8分】 ・動画A、動画Bのときと同様に、話し合いをします。 </p> <p> ■話し合い内容の発表【4分】 ・動画A、動画Bのときと同様に、話し合いの内容を全体で共有します。 </p> <p> ■講義「動画C」【9分】 ・スライド資料「動画C部分」を用いて、講義します。 </p>

- 3 まとめ（パンフレットを配布）【2分】
- 4 閉会

3. 事前準備・グループ活動での役割分担

■研修会の事前準備

・資料等の事前確認

「動画教材」「スライド資料」「パンフレット」「講義ガイド」

なお、講師の方が実際に説明する内容はスライド資料の「ノート」にも、講義ガイドにも示しています。講義時間に合わせて削除したり追加したりする台詞（せりふ）もあらかじめ決めておきましょう。

・準備するもの

(共通)

- ・パソコン ・プロジェクタ、スクリーン（大型テレビ等でも可能）
- ・DVDプレーヤー（DVDで再生する場合） ・スピーカー （・事後アンケート等）

(話し合い活動をする場合)

- ・メモ用紙や付箋紙等 ・小さめのホワイトボードや模造紙等 ・筆記具

■グループ活動での役割分担

話し合いをする場合は、3名～6名のグループ分けをします。3～4名程度の人数だと意見が出やすい傾向があるようです。

グループで話し合いをする場合、進行のほか、下記を参考にして必要に応じて役割分担をしてください。

机の用意ができない場合は、椅子を持ち寄り、参加者が輪になって行うなど工夫しましょう。

○進行

進行は、話し合いを自分の意図する方向に進め、結論や結果を導くことは避け、グループのメンバーが意見を出しやすいようにしましょう。最初に話をする人は抵抗のある人もいるため、初めに「●●のようなことはありませんか?」「●●だった場合、どうしますか?」など、質問したり、自らの経験を話したりするとスムーズに進行できます。また、発言をしていない人にも質問を投げかけ、全員が話し合いに参加できるように心がけましょう。

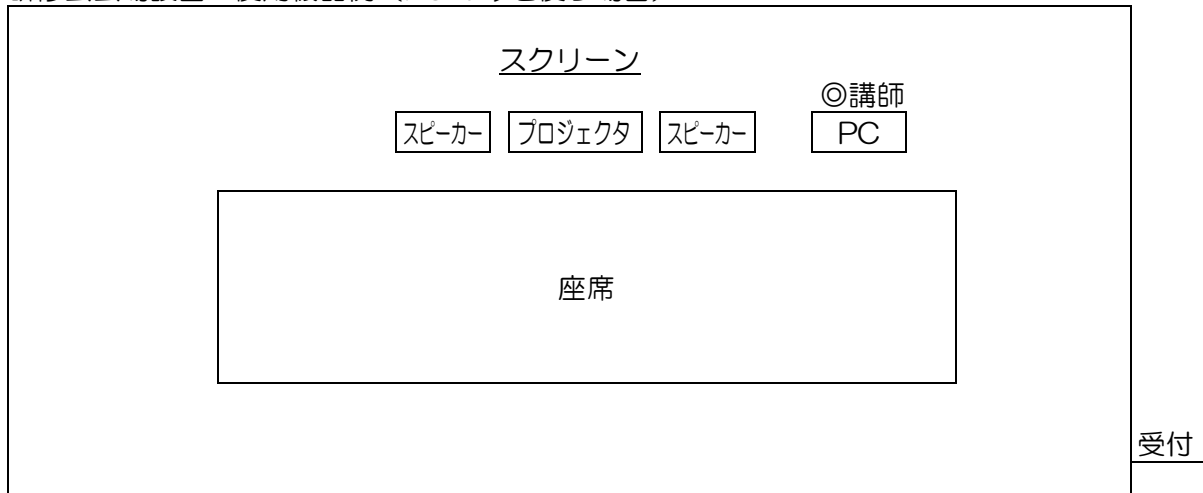
○記録者

記録役は、話し合いの内容をまとめていきます。メモ用紙やホワイトボード等に記録して、内容を整理しながら話し合いを進めましょう。

○発表者

発表者は、グループでの話し合いの内容を全体で発表します。

■研修会会場設営・使用機器例（PCのみを使う場合）



4. 動画の内容とスライド資料の内容

■動画の内容とスライド資料の概要

動画の内容とスライド資料の概要は以下の通りです。

導入部分		<p>【スライド「導入部分」の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スライドNo.1～No.4 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの利用の広がり ・保護者の責務
動画A		<p>【動画A「はじめが大切」の概要】</p> <p>父母と、長女ゆうなさん、次女はるなさん、弟ひろとさんの5人家族。次女のはるなさんが中学校進学を前に、スマートフォンの購入をお母さんをお願いしています。「みんなスマホ買ってもらっているんだよ」。</p> <p>スマートフォンの購入後の家族の様子。自分のしていることに夢中になり、家族全員がリビングにいるのに、会話がなく、ただいだけという状態に。長女のゆうなさんは、何だか寂しそうです。</p> <p>【スライド「動画A部分」の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スライドNo.5～No.11 <ul style="list-style-type: none"> ・本当に「みんなが持っている？」 ・親子のコミュニケーション
動画B		<p>【動画B「知らなかったではすまされない」の概要】</p> <p>ゲーム機でホームページを見ている弟のひろとさん。ゲーム機でホームページが見られることに母はびっくり。</p> <p>次の日、ママ友達と会話する母は、インターネットの利用には様々な危険もあることを知り、「なんかすごく不安になってきた・・・」と一言。</p> <p>【スライド「動画B部分」の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スライドNo.12～27 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲーム機のインターネット利用とペアレンタルコントロール ・ゲームのレーティング（年齢制限） ・SNSと情報発信の危険性 ・インターネットの利用に関する問題・トラブル ・フィルタリング
動画C		<p>【動画C「家庭のルール」の概要】</p> <p>次女のはるなさんが中学校に進学したことで、交友関係や生活リズムが変わったのに、ルールを見直さずに押し付けていた母。次女のはるなさんは母とけんかをして部屋を出て行ってしまいました。</p> <p>母は長女のゆうなさんに相談を持ちかけました。長女のゆうなさんは話し合うこと、ルールを見直すことの大切さなどを母に伝えています。</p> <p>夜、父と話をする母。ルールの大切さをしみじみと感じているようです。</p> <p>【スライド「動画C部分」の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スライドNo.28～38 <ul style="list-style-type: none"> ・子供を守るために必要なこと ・ルールを作るときのポイント ・成長や生活リズムに合わせたルールの見直し ・大人の意識・保護者の連携

5. スライド資料の取扱い

■スライド資料の取扱い

スライド資料は「導入部分」「動画A部分」「動画B部分」「動画C部分」にわかれています。

■スライド資料一覧

※「★」は動画教材以外の補足的内容のため省略することも可能。

※「●」はゲーム機に関わる内容のため、中学校・高等学校等では省略することも可能。

<p>導入部分</p>	 <p>スライド1</p>	 <p>スライド2</p>	 <p>スライド3</p>	 <p>スライド4</p>
<p>動画A部分</p>	 <p>スライド5</p>	 <p>スライド6</p>	 <p>スライド7</p>	 <p>スライド8</p>
	 <p>スライド9</p>	 <p>スライド10</p>	 <p>スライド11</p>	

「動画B部分」以降は次のページへ

資料

●動画シナリオ

ある家族・・・午後の風景	
「話し合っていますか？家庭のルール」 ～安全で安心なインターネット利用のために～	
動	「はじめが大切」 動画視聴時間4分
画	「次女はるな 中学校入学前」
A	<p><次女> ねえ、お母さん。みんなスマホを買ってもらっているんだよ。卒業前にトークアプリのグループを作るって言っているし、私だけ仲間外れにされちゃうよ。</p> <p><母> そうなの？みんな持っているなら仕方ないわね。ただし、勉強をがんばること。いいわね。それと、フィルタリングはかけるからね。使っているのは1日30分まで。必要なとき以外は使わない。それと夜遅くまでも絶対にダメ。いいね。</p> <p><次女> 守る。約束する。</p> <p><父> おっ。スマホ買ってもらえるのか。はるな良かったな。</p> <p><母> でも、子供に与えたスマホでの事件やトラブルが多くなって、ワイドショーでやってたのよね。お姉ちゃんときは、初めてのケータイで随分厳しくルールを決めたけど、スマホは、機能が多くてよく分からない。大丈夫かしら。</p> <p><父> お父さんももう3年ぐらいスマホを使っているけど、今まで一度もイヤなこと経験していないから、普通に使っていれば大丈夫だろう。</p> <p><母> そうね。我が子を信じなきゃね。お友達もみんな持っているみたいだし、中学に行って仲間外れになったりしたら大変だもんね。ルールも決めだし、フィルタリングもかけるし。きっと大丈夫。じゃ、はるな明日一緒にスマホ買いに行こう。</p> <p><次女> やった。危ない使い方は絶対しない。約束する。</p> <p><弟> はる姉ちゃんばかりずるい。</p> <p><母> 何言っているの。ひろとは誕生日にゲーム機を買ってあげたばかりでしょ。スマホが欲しかったらゲーム機は取り上げ！</p> <p><弟> え～。それはいやだあ～。まあいいか。ゲーム機でも通信できるから。</p> <p><母（心の声）> （通信？ゲームをして遊んでいるのよね。）</p>

スマートフォン購入後

<次女>

わあ、みさきちゃん、今、塾終わったんだ。私も写真アップしよっ。

(シャッター音) えっと「いま家でお笑い番組を見てま〜す！」送信っと。

<母>

はるな、ひろと、今日学校で、スポーツ大会があったんでしょ？どうだったの？

<次女・弟>

「・・・」

<母>

聞いているの？

<弟>

うん。

<次女>

楽しかったよ。

<父>

「・・・」

<母>

あっ。メール・・・

<長女(心の声)>

(なんか昔は、もっと会話があったような気がするんだけどなあ・・・。)

動 画	「知らなかったではすまされない」	動画視聴時間4分
B	<p><母> はるな、いつまでスマホを触っているの。夜遅くまでスマホを触らないってルールでしょ。</p> <p><次女> えーだって、まだ、9時だよ。みんな起きているからまだ遅くないよ。 塾から帰ってきたのが8時で夕飯食べてから使っているから、30分使っていないし。 ひろとだって、まだゲームしてるじゃん。</p> <p><弟> ゲームじゃないよ。</p> <p><母> ゲームじゃなくて何やっているの？</p> <p><弟> ホームページ見てるんだよ。アニメの情報たくさんのもっているんだよ、このページ。</p> <p><母> えっ。ホームページ？</p> <p><弟> 他にもいろんなページや動画も見られるんだよ。この前、ゲームの攻略法も動画で見たもんね。</p> <p><母> ゲーム以外にそんなことしてたの？誰に教えてもらってるの？</p> <p><弟> 対戦ゲームで知り合った中学生のお兄ちゃんに教えてもらった。</p> <p><母> 中学生のお兄ちゃんって誰？</p> <p><弟> ゲームの中の友達だから誰かは知らない。</p> <p><母> 知らないって。そんなのダメ。ゲーム機でやるのはゲームだけ。ホームページ見るのも禁止。これもルールに加えるからね。変なホームページにつながったらどうするつもり。</p> <p><弟> えーっ。今さらそんなぁ……。みんなやってるのに……。</p> <p><母（独り言）> もう、スマホやケータイみたいなフィルタリングをゲーム機にもかけられないのかしら。</p>	
	次の日・・・ママ友達と	
	<p><ママ友> ウチの娘が言ってたけど、はるなちゃん、SNSにいろいろ情報を載せているらしいわよ。知ってた？</p> <p><母> えっ。フィルタリングをかけてたらSNSは使えないんじゃないの？</p> <p><ママ友> 使っている機種やサービスによって違いがあるから、フィルタリングかけてれば安全ってわけじゃないのよ。</p> <p><母> そうなの？で、まずい内容が載っているの？</p> <p><ママ友> お笑い番組を見てるって顔写真が載っていたみたいだし、昨日は、調理実習で習ったハンバーグを家でも作ったって写真とコメントが載っていたらしいわよ。</p> <p><弟> お母さん、30分で約束通りゲームやめたよ。おなかすいた。おやつ頂戴。</p>	

<母>

今、お話ししているでしょ。静かにしているなら、今日は特別にまだゲームやっていいわよ。

<弟>

やった。

<母>

あっ、ごめんごめん。で、フィルタリングって、機能してないんだ。

<ママ友>

フィルタリングは万能ではないらしいし、スマホによってフィルタリング以外にも保護者が制限しなくちゃいけないことがあるのよ。

<母>

でも、よかった。なんかマナーの悪いことをアップして、自慢する若者もいるって聞いたから、不安になっちゃった。そんなことなら、大丈夫だね。

<ママ友>

そういうことじゃなくて、写真に位置情報が付いているから、自宅の場所、筒抜けだよ。

<母>

ふーん。

<ママ友>

顔写真も載っているし自宅の場所が分かっているから、はるなちゃんに会いたいと思ったら、誰でも会いに来れちゃうんだよ。

<母>

えっ、そうなの？

<ママ友>

先週、学校で情報モラルの講習会があってスマホの特性なんかも説明してくれたのよ。なんで来なかったの。

<母>

申込みしてたんだけど、雨降ってたからパスしちゃった。行けばよかったなあ。
あ〜子供がやっていること全然わかんない。

<ママ友>

じゃあ明日、うちに来ない？講習会にはうちのお父さんも参加してたし、スマホは、私より詳しいから説明させるね。

<母>

行く。いろいろ教えて。

知らないじゃ済まされない。なんかすごく不安になってきた。

動 画	「家庭のルール」	動画視聴時間5分
C	<p><母> もう2時間以上スマホいじったままだけど。変な写真とかアップしてるんじゃないでしょうね。お母さん知っているんだからね。</p> <p><次女> いきなり何それ。友達からメッセージが来たらすぐ返さないと無視してると思われちゃうの。私だって終わりたいけど、できないときがあるんだよ。</p> <p><母> 約束は約束。買うときにちゃんと決めたよね。ひろとだって、ゲーム機の利用時間守っているんだから。</p> <p><弟（心の声）> （時間は守っているけど、この前、ゲームで対戦したとき、嫌なこと書かれてけんかになっちゃったんだよな。これ言うと、ゲーム取り上げられるだろうなあ。）</p> <p><次女> ひろとは、まだ、小学生でしょ。私がルールを決められちゃったのは小6の3月じゃん。中学生になったんだから、部活とかテストの連絡だってあるし、小学生と同じようには守れないよ！それに、お母さんだってずっとやってるじゃない。</p> <p><母> お母さんは大事な連絡を取り合っているの。</p> <p><次女> 私だって友達との大事な連絡だよ。私たちにだって都合があるんだよ。</p> <p><母> ルールはルール。</p> <p><次女> 一方的すぎるよ。大人は時間が自由で子供はダメなんて。大人って勝手だよ。</p> <p><母> 何よあの態度。生意気なんだから。お姉ちゃんどうにかしてよ。</p> <p><長女> 私は中1のとき、ケータイ買ってもらって、初めはきついフィルタリングで、ルールも厳しかったけど、話し合いながら見直してくれたよね。</p> <p><母> そうねえ。</p> <p><長女> お母さんには言えなかったけど、私、メールで友達ともめたことがあったんだ。それ言ったら取り上げられるかもと怖くて言えなかったけど、本当はお母さんに相談したかった。<母> そんなことがあったの？</p> <p><長女> スマホに変えたときもうれしくて、トークアプリでついつい夜中までなんてこともあったけど、勉強中は触らないっていうルールがあるって友達に話してたから今は大分落ち着いたと思う。</p> <p>最近、無料の英単語アプリとか入れて、通学の途中にスマホで勉強してるんだよ。</p> <p><母> スマホで勉強。</p> <p><長女> やっている子も結構いるよ。はるなもやってるよ。</p> <p><母> そうなの？</p>	

<長女>

生活が乱れないようにって理由で30分間とか遅くまで使わないっていうルールは分かるけど、大切なのははるなもひろともその意味を分かっているかだと思うよ。

<母>

なるほどね。

<長女>

例えば、さっきのお母さんみたいに誰かとメールしながら、ついでにルールのことを持ち出しでも納得できないんじゃない？

<母>

そうだよ。

<長女>

ひろとのゲーム時間も30分だったはずなのに、「静かにしていてくれるなら、もう少しやっていい」とか、大人の考えでルールが変わるのは変だし、一方的に「取上げ」たりすると、そのうち隠れてやるようになるよ。

<母>

隠れてなんてダメ。

<長女>

だから、ちゃんと話し合いてよ。

私のときみたいに。「いつかはフィルタリングやルールじゃなく、自分たちで判断できるようにしなきゃならない」って、昨日情報の授業で先生が言ってたよ。

<母>

確かにそうよね……。

その日の夜……

<父>

ルールの意味かぁ。そういえば、お姉ちゃん的时候は、本人の意見も聞きながらルールを変えていったよなぁ。

<母>

そもそも何のためにルールを決めるのか、ちゃんと話し合わなければいけなかったのに、それをやらずに一方的に押し付けてた。

<父>

ルールを作るのが目的になってしまったのかもしれないな。

ルールを破って長い時間メールをしているとお友達のお家にも迷惑をかけていることをはるなは知っているのか。

<母>

そんなことまで、考えていないでしょうね。「30分まで」というルールには、相手のことを考えることも大切だという意味があることを、ちゃんと伝えていかなければいけないよね。

<父>

スマホを持たせる前に、親ももっと勉強しておくべきだったのかもしれないな。

<母>

来週の土曜日、ひろとの学校の親子学習会で情報モラルの講習があるんだけど、お父さんも行かない？

<父>


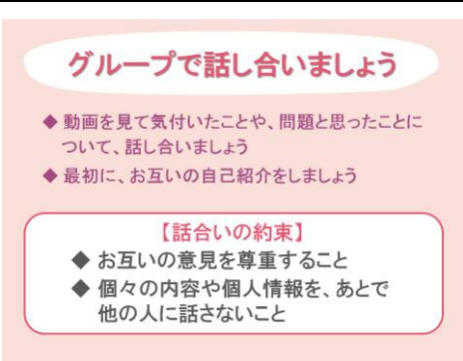
来週の土曜日。わかった、一緒に行こう。インターネットは使って当たり前の時代に子育てしてる意識を持たなきゃな。


●スライド資料・ノート



※各スライドNo.の下の数字は、目安の時間を表しています。（例：1' 00 = 1分00秒）

◆スライド資料 「導入部分」		
No.	スライド画像	ノート（台詞（せりふ））
1 1' 00		<p>本日はこれから、「話し合っていますか？家庭のルール 安全で安心なインターネット利用のために」と題して、お話をさせていただきます。よろしくお願いたします。</p> <p>（講師自己紹介）</p>
2 1' 10		<p>電車やバスの中で、多くの乗客がスマートフォンを使っている光景を見たことはありませんか？</p> <p>スマートフォンが進化、普及して、電話はもちろん新聞を読んだり、読書をしたり、音楽を聴いたり、地図や時刻表で行き先を調べたりといったことが、スマートフォン1つで簡単にできるようになりました。そのため、どこへ行ってもスマートフォンを操作している人がいます。スマートフォンは、パソコンと同じように様々なことができるのです。</p> <p>その便利なスマートフォンですが、自由に持ち運んで利用することができるため、子供が利用するとき保護者の目がなかなか行き届かなくなります。使い方を間違えるとこれから説明する様々なトラブルに巻き込まれてしまうなど、多くの問題が起こる可能性もあります。</p> <p>また、使い方によっては子供の健全な成長を阻害したり、中には、トラブルの加害者となり、取り返しのつかないことになったりすることもあります。</p>
3 1' 20		<p>スマートフォンだけではなく、インターネットに接続できる機器は子供の身の回りにたくさんあります。</p> <p>パソコン・携帯電話・スマートフォン・タブレット端末のほかにも、音楽プレイヤー・ゲーム機・契約が切れたスマートフォンなども、家庭や駅、コンビニエンスストアなどにある、無線LAN（Wi-Fi（ワイファイ））などを利用して、インターネットに接続することが可能です。</p> <p>これらの機器に何も対策をせず、子供に利用させているということはないでしょうか。後ほど詳しく説明しますが、フィルタリングやペアレンタルコントロールなどの対策をせず、これらの機器を利用すると、アダルトサイトや暴力的なサイトなどの有害なウェブサイト（※）の閲覧も可能となります。</p> <p>こうした状況は子供には絶対に好ましくないため、対策が必要です。</p> <p>また、子供がクレジットカードを無断で使用し、ゲ</p>





		<p>ームで課金をされたり、インターネットショッピングを利用して、トラブルに巻き込まれたりする事例も発生しています。このような現状を踏まえ、子供が被害者とならないように、また、加害者とならないように指導することは、保護者の責務でもあります。</p> <p>【※ウェブサイトのことを、通常はホームページと呼ぶこともありますが、この研修では、正式に「ウェブサイト」という言葉を使います。】</p>
<p>4 1'00</p>	<div style="border: 1px solid #f08080; padding: 10px; background-color: #fff9e6;"> <p style="text-align: center; color: #e91e63; font-weight: bold; margin: 0;">保護者の責務</p> <p style="font-size: small; margin: 5px 0;">青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律（青少年インターネット環境整備法）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 子供のインターネット利用状況を適切に把握する ◆ フィルタリング等の利用により、子供のインターネットの利用を適切に管理する ◆ 子供がインターネットを適切に活用する能力の習得の促進に努める ◆ 不適切な利用により、売春、犯罪の被害、いじめ等様々な問題が生じることに留意する </div>	<p>保護者の責務に関しては、「青少年インターネット環境整備法」にも、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供のインターネット利用状況を適切に把握する ・フィルタリングなどの利用により、子供のインターネットの利用を適切に管理する ・子供がインターネットを適切に活用する能力の習得の促進に努める ・不適切な利用により、売春、犯罪の被害、いじめなど様々な問題が生じることに留意する <p>といったことが示されています。</p> <p>法の上でも、保護者には、子供が安全に安心してインターネットを利用できるようにする責務があるのです。</p> <p>そこで、本日は、子供が安全に安心してインターネットを利用するために、保護者としてどうすればよいか、また、子供への関わり方をどうすればよいか考えていきましょう。</p>

◆スライド資料 「動画A部分」		
No.	スライド画像	ノート（台詞（せりふ））
5 0' 30		<p>今から3つの動画を視聴していただきます。 1つ目は、「はじめが大切」というテーマの動画です。必要であれば、メモを取りながら視聴してください。</p> <p><<※この動画視聴による話し合いを、時間の都合で省略する場合は、以下の台詞（せりふ）は不要。>></p> <p>動画を見て、内容での気付きや疑問点、問題点と思われることをあとで話し合ってください。</p> <p><動画「はじめが大切」を視聴する></p>
6 1' 00		<p>【話し合いを行わない場合このスライドは省略】 いかがでしたか？これから、動画を見て気付いたことや、問題と想到的ことについて、グループで話し合ってください。その後、私から説明などをさせていただきます。そのあと、私から説明などをさせていただきます。そのあと、私から説明などをさせていただきます。</p> <p>話し合いをするときの約束を2点お話しします。 1つ目は、お互いの意見を尊重することです。意見には、耳を傾け、相手の意見を否定しないようにしましょう。 2つ目は、話し合いの中で知った、個々の内容や個人情報を、あとで他の人に話さないということです。 話し合いの時間は●分間です。</p> <p>それでは、初めにお互いの自己紹介をしてから始めてください。</p> <p>【3～6名のグループ分けをする。3～4名程度の人数だと意見が出やすい傾向がある。】 【他のグループで出た意見を知ることも有益であるため、講師は話し合いの時間に各グループを巡回して良い意見をメモしておき、後ほど紹介するとよい。また、時間に余裕がある場合、いくつかのグループの代表者に、どのような話が出たか発表してもらおうとよい。その際は、事前にその旨をグループに伝え発表者を選んでおくよう依頼する。突然、指名して混乱させることがないように留意する。】</p>


<p>7 1' 00</p>		<p>では、動画の場面から見ていきましょう。 この場面では、次女のはるなさんは、「みんなスマホを買ってもらっているんだよ」と言っていました。 子供がこのような話をしてきたら皆さんはどうしますか？</p> <p>【時間があれば参加者に聞いてみるとよい】</p>
<p>8 0' 50</p>	<p>本当に「みんなが持っている？」</p> <p>スマートフォンの利用率</p> <p>小学生 ▶ 17.1% 中学生 ▶ 41.9% 高校生 ▶ 90.7%</p> <p><small>(平成26年度「青少年のインターネット利用環境実態調査」内閣府) ※調査対象: 満10歳から満17歳 ※「スマートフォン」には、「いわゆる格安スマートフォン」、「子供向けスマートフォン」、「携帯電話の契約が切れたスマートフォン」を含む。</small></p>	<p>そもそも、子供が言うように本当にみんながスマートフォンを持っているのでしょうか？ 平成26年度の内閣府の調査では、スマートフォンを利用している子供は、10歳以上の小学生では、17.1%、中学生は、41.9% 17歳以下の高校生では、90.7%という結果でした。 確かに、年々スマートフォンの利用率は増加しており、小学生の2割弱がスマートフォンを利用するようになったことからスマートフォンの利用の低年齢化が伺えます。しかし、小中学生の「みんなが持っている」とは言えません。</p> <p>【利用率は、年々変化するので、最新の情報に変更するとよい。また、地域差、学校差があったり、調査時期によっても利用率が異なったりするため、必要に応じて自治体や教育委員会が調査した資料等を紹介する。】</p>
<p>9 1' 20</p>	<p>子供に「スマートフォンが欲しい」と言われたら</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ スマートフォンを利用する目的や必要な理由を聞きましょう ◆ 家族で話し合い、スマートフォンの利用について「<u>家庭のルール</u>」を決めましょう 	<p>動画では、購入することが前提となって会話が進み「自分にはトラブルがなかったから大丈夫」という父親の根拠のない思い込みのもと、購入することが決まってしまいました。</p> <p>では、子供から「スマートフォンが欲しい」と言われたときに、どのような対応をすればよいか考えてみましょう。</p> <p>まずは、子供から「スマートフォンを何に利用するのか?」「なぜ必要なのか?」など、スマートフォンを利用する目的や、必要な理由を必ず聞きましょう。興味本位であったり、必要な理由を子供が説明できなかったりする場合は、購入を見送ることも考えられます。</p> <p>そして、スマートフォンを利用する目的や、必要な理由を保護者が納得し、購入を決めたときは、家族で話し合いを持ち、スマートフォンの利用について「家庭のルール」を決めましょう。ルールについては後ほど詳しく説明しますが、購入時に、あらかじめ決めることが大切です。</p>




<p>10 0' 20</p>	 <p>昔はもっと会話があったような気がするんだけどなあ...</p>	<p>さて、この場面では、家族全員がリビングにいるのに、各自がインターネットの利用に夢中になり、会話がなくなっていました。このようなことは、皆さんのご家庭ではありませんか？</p>
<p>11 0' 40</p>	<p>親子のコミュニケーション</p> <p>保護者から、子供の言葉に耳を傾ける</p> <p>▼</p> <p>子供から相談できる雰囲気作りを</p> 	<p>親子の会話が不足すると、子供が悩んでいても、その変化を見逃し、大きな問題に発展することもあります。</p> <p>これからインターネットの利用に関する具体的なお話をしますが、まずは、保護者の姿勢として、子供の言葉に耳を傾け、コミュニケーションをとることが大切です。子供に悩みや困ったことがあるときに、子供から相談できる雰囲気をふだんから作っておくことが重要です。</p>

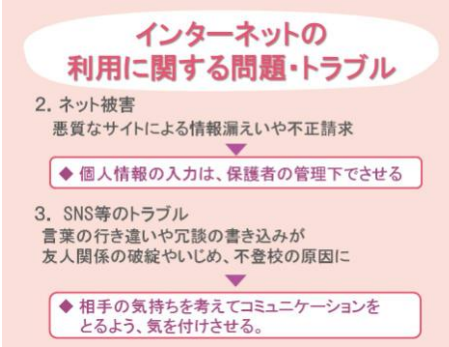

◆スライド資料 「動画B部分」		
No.	スライド画像	ノート（台詞（せりふ））
12 0' 30		<p>次の動画を視聴します。</p> <p>2つ目は、「知らなかったでは すまされない」というテーマの動画です。必要であれば、メモを取りながら視聴してください。</p> <p><<※この動画視聴による話し合いを、時間の都合で省略する場合は、以下の台詞（せりふ）は不要。>></p> <p>動画を見て、気づきや疑問点、問題点と思われたことをあとで話し合ってください。</p> <p><動画「知らなかったでは すまされない」を視聴する></p>
13 1' 00		<p>【話し合いを行わない場合このスライドは省略する】</p> <p>【話し合いが1回目の場合、以下の発言から始める】</p> <p>いかがでしたか？これから、動画を見て気付いたことや、問題と思ったことについて、グループで話し合ってください。そのあと、私から説明などをさせていただきたいと思います。</p> <p>話し合いをするときの約束を2点お話しします。1つ目は、お互いの意見を尊重することです。意見には、耳を傾け、相手の意見を否定しないようにしましょう。</p> <p>2つ目は、話し合いの中で知った、個々の内容や個人情報を、あとで他の人に話さないということです。話し合いの時間は●分間です。</p> <p>それでは、初めにお互いの自己紹介をしてから始めてください。</p> <p>【3～6名のグループ分けをする。3～4名程度の人数だと意見が出やすい傾向がある。】</p> <p>【話し合いが2度目の場合、以下の発言から始める】</p> <p>いかがでしたか？それでは、先ほどと同じようにグループごとに話し合いをお願いします。話し合いの時間は●分間です。</p> <p>それでは、話し合いをお願いします。</p> <p>【他のグループで出た意見を知ることも有益であるため、講師は話し合いの時間に各グループを巡回して良い意見をメモしておき、後ほど紹介するとよい。また、時間に余裕がある場合、いくつかのグループの代表者に、どのような話が出たか発表してもらえるとよい。その際は、事前にその旨をグループに伝え発表者を選んでおくよう依頼する。突然、指名して混乱させることがないように留意する。】</p>

<p>14 0' 20</p>		<p>では、動画の場面から見ていきましょう。 この場面では、弟のひろとさんがゲーム機を持って「ホームページ見てるんだよ」と言っていました。子供たちは、ゲーム機でゲームだけをしているわけではないようです。</p>
<p>15 0' 40</p>		<p>ゲーム機がインターネットにつながることは知っていますか？自宅で無線LAN（Wi-Fiなど）の設備がある場合や、駅や、コンビニエンスストアなど、公衆無線LAN（Wi-Fiなど）が設置されている場所では、ゲーム機もインターネットにつながります。</p> <p>つまり、ゲーム機を持っていれば、街中のあらゆる場所で、ホームページを見たり、動画を視聴したり、メールをしたりすることができてしまうのです。</p> <p>【時間に余裕があれば、以下について補足する。 ・出力元が不明で、パスワードがかかっていないアクセスポイントに勝手につながってしまう、通称「野良アクセスポイント」といった問題がある。 ・2020年のオリンピック・パラリンピックなどに向け、無料の無線LAN（Wi-Fiなど）が全国的に急速に増加しており、より一層つながりやすくなる可能性がある。】</p>
<p>16 0' 50</p>		<p>ゲーム機をインターネットに接続することによるトラブルも発生しています。</p> <p>例えば、子供がアダルトサイトなどの有害なウェブサイトを開覧してしまう場合があります。また、インターネットショップで保護者のクレジットカードを使って買物をし、高額請求された事例もあります。</p> <p>ゲームの中のチャットで、言葉の行き違いによるけんかなどのトラブルが発生したり、長時間の使用によって健康問題につながったりするなどの問題もあります。</p> <p>最近のゲーム機の多くは、このようなトラブルを防ぐため、保護者によってゲーム機の機能を制限する、「ペアレンタルコントロール」が付いています。</p>
<p>17 0' 40</p>		<p>ペアレンタルコントロールでは、ゲームの年齢制限や、インターネットの接続を制限する設定、インターネットショッピングや無線通信の制限など危険を回避するための設定ができるようになっています。</p> <p>これらの設定を変更するには、パスワードが必要になります。パスワードは保護者が責任をもって設定し子供にはパスワードを教えないようにしましょう。</p> <p>また、設定を変更する際は、必ず保護者が行いましょう。</p>

<p>18 1' 30</p>	 <p>「Z」は、特定の暴力表現や、殺人や窃盗といった、反社会的行為の表現があるゲーム</p>	<p>また、ゲームを購入するときにも注意することがあるので説明します。</p> <p>ゲーム機用のゲームを購入する際には、年齢に合った内容であるかということを確認者が注意をする必要があり、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構「CERO（セロ）」のレーティングと呼ばれるものでその区分が示されています。</p> <p>レーティングはゲーム機のパッケージに明示されており、Aは、全年齢が対象、Bは12才以上、Zになると対象は、18才以上のみで、特定の暴力表現や犯罪描写といった反社会的行為の表現などの内容が含まれていることがあります。小学生など低年齢の子供は、暴力的なゲームや反社会的な表現のあるゲームに夢中になることで、現実と仮想の区別がつかなくなり、善悪の判断や価値観に影響が出てしまうこともあります。</p> <p>ゲームを購入する際は、レーティングの表示を確認しましょう。また、ゲーム機によっては、先ほど説明したペアレンタルコントロールの設定で、年齢に合わせて、起動を制限することもできるため、併せて利用するようにしましょう。</p>
<p>19 0' 10</p>		<p>この場面では、お母さんが子供たちのインターネットの利用についてとても不安に感じていました。皆さんは、どうでしょうか？</p>
<p>20 0' 40</p>		<p>皆さんは、子供たちがスマートフォンで、何をしているか知っていますか？</p> <p>子供たちがスマートフォンで利用しているアプリやサービスをいくつか挙げてみました。</p> <p>【画面スライドのいくつかを読み上げる】</p> <p>このように様々なアプリやサービスを子供たちは使っています。これらは、ほんの一例ですが、日々、新しいアプリやサービスが登場しています。その中でもSNSは子供がよく使っているアプリやサービスの一つです。</p>

<p>21 2' 00</p>	<p style="text-align: center;">子供たちがよく使っているSNS</p> <p style="text-align: center;">SNS(インターネット上で人と人をつなげるサービス)</p>  <p>1対1 or グループ 会話 短文 気軽 公開 実名 つながり</p>	<p>SNSとは、インターネット上で情報を発信し、人と人をつなげるサービスのことで、それぞれのサービスごとに特徴があり、発生するトラブルの傾向も違います。</p> <p>メッセージのやり取りを主にするサービスでは、1対1や、特定の人とのグループ内で、会話や画像などの送受信ができます。外部からはどのような会話をしているのかわからないため、保護者や学校関係者が知らない間に会話がエスカレートしたり、グループから1人だけ外されて、別にグループを作って会話をされたりして、いじめなどのトラブルになることがあります。</p> <p>短いメッセージを発信するサービスでは、比較的短いコメントや写真、動画などを簡単に投稿できます。その気軽さから利用が広がっていますが、投稿してはいけないものを発信し、自分だけではなく、他人にも迷惑をかけるトラブルが発生したりしています。</p> <p>実名で登録し、「友達」同士がつながるサービスでは、同じ出身校や、同じ出身地、同じ趣味などを共有する友達同士がつながり、コミュニケーションを取ることができます。実名を登録して利用することから、投稿の際には特に注意をしないと、取り返しのつかないトラブルとなることもあります。</p> <p>子供によっては、このようなSNSで友達やインターネットで知り合った人と、常につながっており、中には会ったこともない人とのやり取りに夢中になっている、心配な例もあります。</p> <p>【それぞれの代表的なサービスを、各学校の実態を踏まえて、具体的に紹介するとよい。】</p>
<p>22 1' 30</p>	<p style="text-align: center;">安易な情報発信は危険</p> <p style="text-align: center;">自宅での安易な情報発信</p>  <p>位置情報から自宅が判明</p>	<p>動画では、次女のはるなさんが自宅で自分の写真を撮ってSNSに投稿していました。インターネット上への安易な情報発信は危険です。</p> <p>発信された情報は、世界中の人から見られる可能性があります。友達しか見ないと思って投稿しても、面白いと思った人が、他の場所にコピーして広めてしまうかもしれません。</p> <p>そのようにして広まった情報は、第三者がコピーしたり、別の場所に投稿し直したりすることで、拡散してしまい、二度と消すことはできません。</p> <p>はるなさんの場合のように、写真に位置情報が付いている場合は、簡単に撮影場所を特定することができます。また、位置情報が付いていなくても、写真に写っている背景や制服などから、どこの学校に通っているのか、わかってしまうこともあります。仮に、悪意を持った人がそのような投稿を見つけた場合、つきまとわれるなどの被害に遭う可能性もあります。</p> <p>安易な情報発信は危険につながることを、認識しておくことが大切です。</p>

<p>23 1' 10</p>	<p style="text-align: center;">インターネット上への 安易な情報発信</p> <p>インターネット上に</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ アルバイト先のお店の商品で遊んでいる写真を投稿する ◆ 元交際相手のプライベートな写真を投稿する ◆ 「〇〇を爆破します」と書き込む ◆ 他人をひぼう中傷する内容を書き込む <p>▶ 犯罪になる可能性がある</p>	<p>安易な情報発信が、法に触れることもあります。スライドに示している、インターネット上に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルバイト先のお店の商品で遊んでいる写真を投稿する ・元交際相手のプライベートな写真を投稿する ・「〇〇を爆破します」と書き込む ・他人をひぼう中傷する内容を書き込む <p>といった行為は、いずれも犯罪となる可能性があり、刑事罰を科せられることもある行為です。刑事罰を免れたとしても、慰謝料や損害賠償を請求される可能性もあります。</p> <p>匿名だから特定されないだろうという思い込みから、このような投稿をしてしまう子供もいますが、警察は、いつ、どの機器から投稿されたのか調べることができます。</p> <p>子供のインターネットの利用については、被害に巻き込まれていないか、という視点だけではなく、何か問題を起こすようなことをしていないか、という視点からも注意が必要です。</p>
<p>24 2' 10</p>	<p style="text-align: center;">インターネットの 利用に関する問題・トラブル</p> <p>1. ネット依存</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>コンテンツ依存</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>つながり依存</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ゲーム依存</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 保護者から積極的に子供に声をかけ、コミュニケーションを図る ◆ スポーツや体験活動を通して、協調性を学ぶ機会を与える ◆ 保護者同士で連絡を取り合い、子供の状況を把握する </div>	<p>ここからは、インターネットでどのような問題やトラブルが起こっているのかを見ていきましょう。</p> <p>まず、インターネット上のコンテンツや、SNSを長時間利用してしまういわゆる「ネット依存（※）」と呼ばれるものについてです。ここでは、ネット依存のうち、代表的なものを3つ紹介します。</p> <p>1つ目は、「コンテンツ依存」です。インターネット上の動画や、面白そうなホームページを次々と見続けると、自分ではインターネットの利用をやめられない状態になります。特に子供は自制が利かず、日常生活に支障をきたす場合もあります。</p> <p>2つ目は、「つながり依存」です。SNSなどにのめり込み、誰かと常にコミュニケーションをとり続けるという過剰なつながりから、SNSなどがないと不安になるという状態です。また、返事をしないと相手にどう思われるかわからない、という不安から依存に陥ってしまう子供もいます。</p> <p>3つ目は、「ゲーム依存」です。ゲームの続きが気になって自分からはやめられなくなってしまう状態です。ネットゲームは、仲間と一緒にプレイすることが多いため、自分だけ抜けられなくなってしまうなど、ゲームにはまってしまうという特徴があり、特に注意が必要です。このようなネット依存の状態にならないためには、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者から積極的に子供に声をかけ、コミュニケーションを図る ・スポーツや体験活動を通して、他人との協調性を学ぶ機会を与える ・保護者同士で連絡を取り合い、子供の状況を把握するといったことが大切です。

		<p>くく※「ネット依存」は、病気として確立されたものではないが、睡眠時間や睡眠の質に影響が及ぶ傾向を始め、健康問題や社会的問題を起こしうるものであり早期発見・早期対策が必要と考えられている。>></p>
<p>25 1' 30</p>		<p>次に「ネット被害」についてです。</p> <p>インターネット上には、無料を装って個人情報を取得する悪質なウェブサイトやアプリが多くあります。そして、入力した個人情報が悪用され、迷惑メールやセールスの電話が頻繁に来たり、さらには、高額料金を不正に請求されたりすることもあります。</p> <p>インターネット上へ、住所や氏名、電話番号などの個人情報を書き込む必要があるときは、そのウェブサイトやアプリが信用できるものであるかをよく確かめ、必ず保護者の管理下でさせることが大切です。</p> <p>3番目は、「SNSなどのトラブル」についてです。</p> <p>SNSを使ってコミュニケーションをとると、言葉の行き違いや、冗談で書いたことを理解されず、気分を害したりして、友人関係が悪くなり、いじめにつながったりすることがあります。また、そのことが原因で不登校になる子供もいます。</p> <p>そのようなことにならないよう、コミュニケーションをとるときには、相手の気持ちを考えてコミュニケーションをとるよう、日頃から気を付けさせることが大切です。</p> <p>また、深刻なトラブルに発展しないように、子供の交友関係を把握したり、ふだんから子供が相談しやすい環境を作ったりするなどして、トラブルの兆候を早めに察知することも大切です。</p>
<p>26 1' 10</p>		<p>4番目は「見知らぬ人との出会い」についてです。</p> <p>インターネット上での見知らぬ人との出会いからトラブルになることもあります。インターネット上では、性別や年齢などを偽っている人もいます。</p> <p>性別や、年齢、趣味などが同じであるかのように振る舞いながら近づき、個人情報を要求したり、言葉巧みに信頼させ、直接会うように誘ったりしてることがあります。</p> <p>インターネット上で知り合った、面識のない人に個人情報を教えたり、直接会ったりすることはとても危険です。子供にもそのことを、しっかり伝える必要があります。</p> <p>このようなトラブルに巻き込まれないための有効な手段の1つがフィルタリングです。</p> <p>警察庁の発表によると、SNSなどのコミュニティサイトに起因する犯罪に巻き込まれた子供の95%以上は、フィルタリングを利用していませんでした。</p> <p>このことからフィルタリングの重要性がわかります。次のスライドで、フィルタリングについて詳しく見ていきます。</p>

27
1' 40



フィルタリングとは、子供にアダルトサイトや出会い系サイト、暴力的なサイトなどの有害なウェブサイトの閲覧や、利用させたくないアプリを、ブロックする機能のことです。


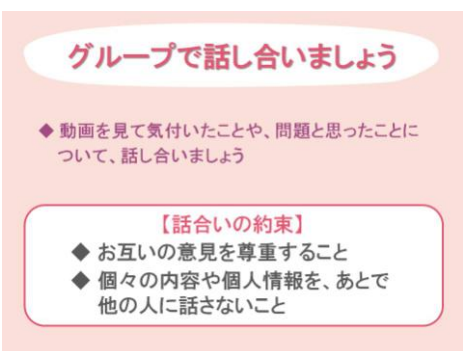
フィルタリングの方法は主に3つあります。携帯電話の回線でのブロック、無線LAN（Wi-Fiなど）環境下でのブロック、アプリの利用制限です。


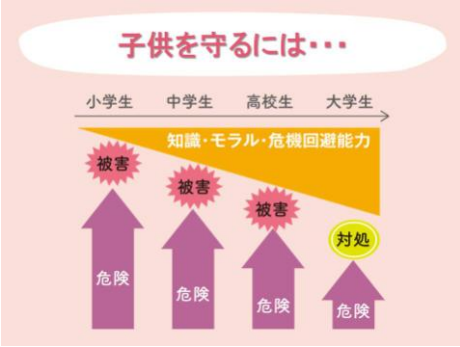

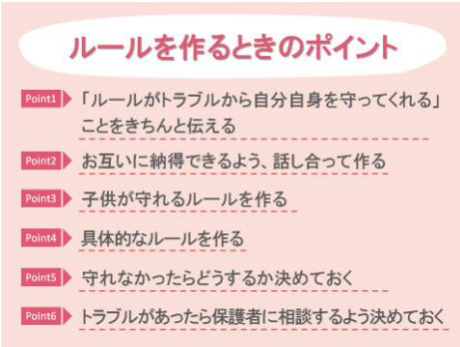
携帯電話の回線のフィルタリングを利用していても、無線LAN（Wi-Fiなど）でインターネットに接続した場合は、有害なウェブサイトをブロックできずにつながることがあります。無線LAN（Wi-Fiなど）環境下でも有害なウェブサイトをブロックする方法や、アプリの利用を制限する方法もありますので、詳しくは、携帯電話会社などに相談しましょう。

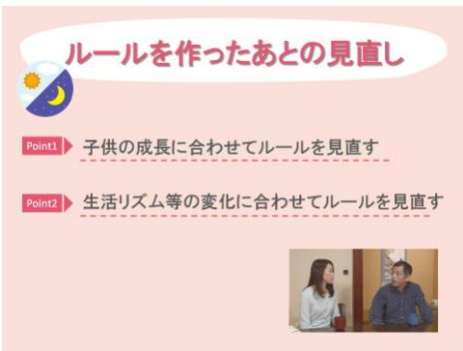

また、フィルタリングはアクセスができるウェブサイトやカテゴリを個別に設定することができます。子供から「●●をしたいから、フィルタリングはかけないで」と言われて、フィルタリングを解除してしまったという例もあるようですが、この個別の設定を利用すれば、フィルタリングそのものを解除する必要はありません。

子供の成長に合わせて、利用できるサービスの範囲を広げていきましょう。

携帯電話会社は、子供にスマートフォンなどを購入するときに、「フィルタリング」の説明をしてくれます。子供にスマートフォンなどを購入する場合、はじめにきちんと説明を聞いて、設定しておくことが大切です。

◆スライド資料 「動画C部分」		
No.	スライド画像	ノート（台詞（せりふ））
28 0' 30		<p>ここまで、具体的な利用やトラブルなどの話をしてきましたが、最後にルールについて考えていきます。次の動画のテーマは、「家庭のルール」です。必要であればメモを取りながら視聴してください。</p> <p><<※この動画視聴による話し合いを、時間の都合で省略する場合は、以下の台詞（せりふ）は不要。>></p> <p>動画を見て、内容での気づきや疑問点、問題点と思われることをあとで話し合ってください。</p> <p><動画「家庭のルール」を視聴する></p>
29 1' 00		<p>【話し合いを行わない場合このスライドは省略する】 【話し合いが1回目の場合、以下の発言から始める】</p> <p>いかがでしたか？これから、動画を見て気付いたことや、問題と思ったことについて、グループで話し合ってください。そのあと、私から説明などをさせていただきます。</p> <p>話し合いをするときの約束を2点お話しします。</p> <p>1つ目は、お互いの意見を尊重することです。意見には、耳を傾け、相手の意見を否定しないようにしましょう。</p> <p>2つ目は、話し合いの中で知った、個々の内容や個人情報を、あとで他の人に話さないということです。話し合いの時間は●分間です。</p> <p>それでは、初めにお互いの自己紹介をしてから始めてください。</p> <p>【3～6名のグループ分けをする。3～4名程度の人数だと意見が出やすい傾向がある。】</p> <p>【話し合いが2度目の場合、以下の発言から始める】</p> <p>いかがでしたか？それでは、先ほどと同じようにグループごとに話し合いをお願いします。話し合いの時間は●分間です。</p> <p>それでは、話し合いをお願いします。</p> <p>【他のグループで出た意見を知ることも有益であるため、講師は話し合いの時間に各グループを巡回して良い意見をメモしておき、後ほど紹介するとよい。また、時間に余裕がある場合、いくつかのグループの代表者に、どのような話が出たか発表してもらえるとよい。その際は、事前にその旨をグループに伝え発表者を選んでおくよう依頼する。突然、指名して混乱させることがないように留意する。】</p>

<p>30 0' 50</p>		<p>では、動画の場面から見ていきましょう。 左上の場面では、長女のゆうなさんが、「はじめはルールも厳しかったけど、話し合いながら見直してくれたよね。」とっていました。 このように、子供としっかり話し合いをして、子供が納得できるルールを、成長段階に応じて見直していくことは、とても大切なことです。 また、お父さんからは「ルールを作るのが目的になってしまったのかもしれないな。」と反省の言葉もありました。 インターネットに関するルールがどうしても必要なのか、次のスライドで確認しましょう。</p>
<p>31 0' 30</p>		<p>スマートフォンの利用は、便利さとともに危険もあることを述べてきましたが、大人は危険に関する知識やモラルがあり、自ら対処することが可能ですが、子供はスマートフォンの操作は詳しいものの、危険に対処する力は低く、特に低年齢の子供ほど、被害にあう危険性は高いといえます。</p>
<p>32 0' 40</p>		<p>そこで、こうした危険を回避するため、フィルタリングによる機能制限や、家庭のルールなどによって、子供を守る必要があるのです。 しかし、いつまでも制限やルールによって、触れる情報を減らしては、情報社会で生き抜くために必要な知識やモラルが身につかず、危機回避能力も育ちません。学校での情報モラル教育や、日々の生活での経験の積み重ねにより、危険に対応する能力を育てながら、成長に従って、制限やルールを減らしていくことも必要なことです。</p>
<p>33 2' 40</p>		<p>では、家庭のルールはどのように作ったらよいでしょうか。 動画の中では、次女のはるなさんが「大人って勝手だよ」といって部屋を出て行ってしまいました。ルールは大人が一方的に決めるものではなく、子供と一緒に作る事が大切です。ルールを作るときポイントを、6つ紹介します。 1つ目は、「ルールがトラブルから自分自身を守ってくれる」ということを、きちんと伝えることです。ルールは、先ほどのスライドでも説明したとおり、子供自身を守るために作るものです。そのことをきちんと伝え、ルールが何のためにあるのかを理解させておくことが重要です。 2つ目は、「お互いに納得できるよう、話し合っ</p>

		<p>ることが大切です。</p> <p>3つ目は「子供が守れるルールを作る」ことです。いくら子供と話し合いをして作ったからといって、守れないルールでは意味がありません。子供や家庭の実態に合わせて、子供がどのようにしたら守れるのか、考えてあげることが重要です。</p> <p>4つ目は、「具体的なルールを作る」ことです。夜は使わない、危ない使い方はしない、といったルールは曖昧です。22時以降は使わない、知らない人とやり取りをしない、といった風に、ルールを作る場合は曖昧なルールにせず、子供にとっても親にとってもわかりやすいルールとすることが大切です。</p> <p>5つ目は「守れなかったらどうするか決めておく」ことです。作ったルールも守らなければ意味がありません。守らなかった場合にどうするか決めておくことで、守ろうという気持ちを持たせてあげることが重要です。</p> <p>6つ目は、「トラブルがあったら保護者に相談するよう決めておく」ことです。ルールを守っていてもトラブルが起きてしまうこともあります。1人で解決しようとする問題が大きくなることもあるため、あらかじめ保護者に相談するよう決めておくことが大切です。</p>
<p>34 0' 50</p>	 <p>ルールを作ったあとの見直し</p> <p>Point1 子供の成長に合わせてルールを見直す</p> <p>Point2 生活リズム等の変化に合わせてルールを見直す</p>	<p>さらに、ルールを決めたあとも、見直しをすることが大切です。</p> <p>子供の成長や、進級進学での生活リズムの変化は、子供のスマートフォンなどの使い方にも変化を及ぼします。子供は、先ほどのスライドでも見たように、成長とともに、危険に対応する能力も育ってきます。また、部活動や習い事のために、生活リズムや使う目的が変わり、これまでのルールを守ることが難しくなる場合、見直しが必要です。</p> <p>ルールを見直すことが、インターネットに関する新しい知識を身に付けることや、安全に利用しようとする態度を養うことにもつながります。</p>
<p>35 0' 50</p>	 <p>大人の意識・保護者の連携</p> <p>インターネットの知識を深め 適切な利用を考えましょう</p> <p>学校との連携や保護者同士の連携も 大切です</p>	<p>そして、大人の意識も大切です。</p> <p>子供は大人が日常的にインターネットを利用する姿を見ています。保護者自身が正しい使い方を見せることで、子供もそこから学ぶこともあります。保護者もインターネットの知識を深め、適切な利用を考えていきましょう。</p> <p>また、学校では、子供たちにインターネットの特性や危険性、安全な使い方など、情報モラルの指導をしています。学校での学習内容を子供と家庭で共有したり、学校の先生と話をしたり、保護者同士で情報を交換したりすることで、新しい知識を得たり、適切な利用について考えたりしていくことも大切です。</p>

<p>36 0' 40</p>	<p>親としてできること</p> <p>何より大切なことは… 親子のコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 子供を見つめ、見守ること ◆ 理解・共感しようとする 	<p>ここまで、ゲーム機やスマートフォンなど、インターネットに関わる様々な話や、ルール作りの話をしてきましたが、インターネットに関する問題の解決策として、何よりも大切なのは、親子のコミュニケーションです。</p> <p>そのためにも、「子供を見つめ、見守ること」が大切です。</p> <p>スマートフォンに限らず問題が起こったときには、子供の言動に変化があるはず。その変化を見逃さず、気になることがあれば声をかけ、子供に話を聞きましょう。子供を理解し、共感しようとするのが大切です。</p>
<p>37 0' 30</p>	<p>子供たちが安全に賢く インターネットを利用できるよう 考えていきましょう</p> 	<p>インターネットは、大変便利なものです。将来はどのような機器やサービスが登場するのか想像もつきません。次の時代を生きる子供たちが、そのような新たな機器やサービスに対応し、安全に賢くインターネットを利用できるよう、保護者の皆さんも一緒に考えていきましょう。</p>
<p>38 0' 10</p>	<p>保護者のための 情報モラル教室 話し合っていますか？家庭のルール ～安全で安心なインターネット利用のために～</p>  <p><small>文部科学省委託事業 情報モラル教育推進事業 保護者用啓発教材</small></p>	<p>本日の研修はこれで終わりです。ありがとうございました。</p>